

令和8年度 コミュニティ・スクール推進校事業 会議録

会議の名称	小学校学校運営協議会		
開催日時・公開等	令和8年	9月18日 (金)	
会議の公開等	公開		(非公開理由)
開催事前告知	令和8年	8月25日 (火)	ブログや校長室だより等で広く地域に周知を行った
開催後議事録等の周知	令和8年	10月2日 (金)	ブログ等で広く地域に周知を行った
出席者	学校運営委員協議会会長 稲岡 真弓□副会長 鈴木 みどり、岩淵 佳宏、市口 雅史、梅村 尚弘 事務局:校長、教頭、首席、5年生担当教諭、スクールソーシャルワーカー 保護者:田儀 奈津子氏 児童:5年生児童会代表2名		
欠席者	0名		
案件名	・地域の課題「持続可能な地元の祭りについて」5年生からの「地域お祭り活性化策」報告 ・スクールソーシャルワーカー (SSW) およびコミュニティソーシャルワーカー (CSW) の活用推進 ・「さだ推しTシャツ」の収益の教育還元について ・今後の学校経営について		
提出された資料等の名称	資料①・第4回学校運営協議会レジュメ 資料②・学校だより8・9月号		

会議内容

13:00～13:30 第3回 IMS会議「お祭り存続に向けた児童の提案および地域・学校連携について」 児童による発表内容(地域の祭り存続・魅力化に向けた4つの解決策) 児童自らが「祭りの規模縮小・継続の危機」という地域の課題を認識し、国語科および総合的な学習(探究学習)の一環としてまとめた解決策等を発表しました。 【解決策】 1. 児童自作のデザインポスターを駅前や校内に掲示・発信し、参加を呼びかける。 2. 資金集めの工夫: 募金活動などを実施し、運営資金を蓄積する。 3. 大人と子供が協力するボランティア・手伝い: 事前アンケートの活用や、大人が参加しやすいボランティア枠の創出。児童(高学年)が低学年のスタッフ配置や手伝いを主導する。 4. 楽しい企画と綺麗な会場づくり: スタンブラリー、体験型屋台、ゴミ拾いをゲーム化した「ゴミ拾いマスター」などの実施。 【実行ロードマップ(概要)】 1(調査・企画): アンケートによるアイデア収集 2(広報・集金): ポスター作成、募金活動の開始 3(準備・人押し): 大人ボランティア募集、児童の役割分担(高学年による低学年サポート等) 4(当日運営): スタンブラリーやゴミ拾いマスターで会場を盛り上げる ■ 協議内容およびアドバイス・要点 児童の発表を受け、参加者間で以下の意見交換やアドバイスが行われました。 (1) 児童の取り組みに対する評価と指導アドバイス・思い(動機)の表出: 「お祭りをなくたくない」「自分たちの思い出の場所を残したい」という児童の本音・気持ちを最初により強く伝えることで、プレゼンテーションの説得力が増す。 ・真の原因の探究: 「人手不足」は結果であり、「共働き世帯の増加」「PTAや人数の減少」「過度な負担」といった根本的な原因に目を向けることで、より実現可能な解決策が見えてくる。 ・主体的な参画: 単なる「お手伝い」にとどまらず、子どもが主体となって出展できるブース(アップサイクル工作やカプセルトイレ等)など、子どもの「やりたい」を形にする機会を作ることが重要。 (2) お祭りの現状と課題(地域側の視点) ・運営基盤の弱体化: コロナ禍をきっかけとした縮小、自治会・PTA役員の世代交代、働く世代が増えたことによる手伝い時間の確保の難しさが顕著。 ・資金面・スポンサー: 具体的な目標金額の設定と逆算思考(警備費や運営費などの根拠算出)が必要。企業協賛・スポンサーの獲得や地元OB・大学生など外部人材の巻き込みが鍵となる。 13:30～14:30(児童 退出) ■福祉・地域連携(SSWからの報告)・スクールソーシャルワーカー(SSW)およびコミュニティソーシャルワーカー(CSW)の紹介: ・枚方市子どもセンター所属のSSW(中谷氏)より、不登校・いじめ対応だけでなく家庭や地域の困りごとに寄り添う仕組み(CSW:松下氏等の連携)についての説明。 ・地域・家庭・学校を繋ぐ潤滑油としての活用を周知。 ■「さだ推しTシャツの収益の教育還元について」 児童の育成・体験学習プログラムの検討・お笑い教育・言葉遣い:誰かを傷つけない笑いや、言葉の捉え方についての教育(落語家・講師を活用した講座等)。 ・片付け・自己肯定感:身の回りを整える体験を通じた自己肯定感の向上。 ・PTA予算や各種補助金の活用を視野に入れ、今後体験型ワークショップ等の導入も検討。 ■さだ小学校マスコット総選挙 ・キャラクター選定:児童全員からアイデアを募集し、10体に絞り込まれたマスコット案(本校の特徴である土俵、坂道、桜、長寿のフクロウ、笹のバンダ等)について投票を実施。 ・商品化・活用例: グッズ展開(ワッペン、シール、Tシャツ等)や、将来的にはLINEスタンプ化、PTA活動との連携を視野に入れるのもひとつ。 ■今後の予定:次回スケジュール・運動会・オープンスクール(授業参観):11月に実施予定。・次回学校運営協議会:12月中旬(12月11日頃を候補として調整中)。 ・テーマ:今回の児童提案の進捗確認、探究学習(食育・平和学習・子供食堂との連携等)の報告、学力調査結果を踏まえた今後の取り組みについて。
--